

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 : 心臓再同期療法へのアップグレードにおける Paced QRS duration の影響』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 講師 中村啓二郎

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科では、『心臓再同期療法へのアップグレードにおける Paced QRS duration の影響』を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、日本人中で、ペースメーカーの心室ペーシングによって、引き起こされる心機能障害の患者さまの治療に有益な情報を与えることにつながります。

心臓再同期療法とは、両心室ペーシングペースメーカーを用いた治療法であり、心臓の電氣的不同期を改善させる方法です。アップグレードは、ペースメーカーの心室ペーシングにより心機能低下をきたす対象に対して心臓再同期療法を行うことです。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2017年1月～2022年12月に東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 370例、SUBARU 健康保険組合太田記念病院 210例において、心臓植込みデバイス治療(電池交換術を含む、ペースメーカー、両心室ペーシングペースメーカー、植込み型除細動器、両心室ペーシング機能付き除細動器)のため入院診療を受けた方、およそ580名を対象としております。また、上記期間での対象者の中で、新規心臓植込みデバイス治療が、2017年以前である場合は、2000年1月まで臨床データを収集します。

方 法:診療録(カルテ)情報を解析し、paced QRS duration が心機能に与える影響を検証します。paced QRS duration とは、ペーシング QRS 幅であり、ペースメーカーによる心室ペーシング時の QRS 幅を示します。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報: 病歴や診療の治療歴、心機能や心電図データ、心不全発生や両室ペーシング治療介入の状況等

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師: 中村啓二郎 役職: 講師

共同研究機関: SUBARU 健康保険組合太田記念病院 研究責任者: 根本尚彦 役職: 主任部長

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さまのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下

記までご連絡下さい。参加を希望されない場合はデータを研究から除外いたします。患者さまの保護者やご家族の方においても同様に本研究への参加を拒否できる機会(オプトアウト)を保障いたしますので、この場合は、ご遠慮なくご連絡下さい。本研究への不参加が患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 講師 中村啓二郎

電話 03-3468-1251 内線 7125